区政を聞く　代表質問（要旨）

葛飾区議会公明党

緊急経済対策

時代のニーズを先取りした改築により学校を地域のシンボルに

問 定額給付金の支給に合わせ、区民を対象とした生活支援や景気刺激につながる施策を展開してはどうか。

答 区民の生活や区内産業を下支えするための公共事業を積極的に実施する。

※他の質問項目　子育て応援券　など

ワンストップサービス

問 同サービスの実現に向け、業務改革などの課題にどのように取り組むか。

答 平成21年度から全事業の業務分析を実施し、段階的に総合窓口体制へ移行するほか、業務内容の変化に対応できる質の高い職員の育成に努める。

業務継続計画

問 同計画が想定するものは何か。

答 首都直下地震を想定し策定する。

※他の質問項目　新型インフルエンザ発生時の広域対応

高齢者介護

問 夜間対応型訪問介護の現状と利用者の増加のための取り組みはどうか。

答 1月現在の利用者は49名で、平成21年度から24時間訪問介護支援の開始に伴い、利用者の増加を図る。

※他の質問項目　介護基盤の整備

学校施設の改築

問 中青戸小学校の改築に当たり、時代のニーズを先取りした先進事例として取り組むことを求めるか、どのようなことを考えているのか。

中青戸小学校

答 子どもたちの学びの拠点や地域活動・生涯スポーツの場の機能を備えるとともに、地域特性などを考慮し、地域のシンボルとして、地域に愛される学校づくりに取り組む。

学校地域応援団の設置

問 学校運営を支援する既存の地域組織と学校地域応援団との相違点は何か。

答 同応援団は既存の地域組織を基盤としつつ、新たな人材を含め、幅広く教育活動に参加できる仕組みとする。

※他の質問項目　学校地域応援団と学校選択制との関係　など

区民大学

問 大学の名にふさわしい制度と内容を構築するほか、区内の豊富な人材を活用する仕組みを作ってはどうか。

答 区民大学は、葛飾の歴史や文化など多様な分野を体系的に学べる場とし、区内の人材を講師として活用する。

水元フィットネスパーク整備事業

問 三世代の家族が一緒に楽しめ、健康づくりもできる施設にしてはどうか。

答 誰でも気軽に健康づくりやスポーツを楽しめる運動公園に整備する。

水元小合溜水環境の再生

問 平家ボタルの復活を目標に、水環境の再生をどのように進めるのか。

答 再生のための生物指標を設定し、平家ボタルも指標の一つに検討する。

保育園の待機児解消への取り組み

問 地域における待機児の偏在状況と理由、今後の推移について伺う。

答 マンション需要の高い地域などに待機児が多くなる傾向がある。認可保育所などを設置し、解消に努める。

※他の質問項目　高砂団地の建て替えに伴う保育園の統合　など

保健所及び（仮称）子ども総合センターの建設

問 同センターは、児童虐待の早期発見などのため、何を実施するのか。

答 母子保健と子ども家庭支援センターなどを連携させ、児童虐待の兆候の早期発見・早期相談などを行う。

※他の質問項目　センターでのユニバーサルデザインの取り組み

※他の質問項目　観光プランの推進

小菅の東京拘置所内での死刑執行

問 「区民と創る元気なかつしか」の実現のためには、小菅地域の区民の精神的な苦痛となっている東京拘置所内での死刑執行の移転を、関係機関に求めていくべきと思うが、取り組みについて伺う。

答 東京拘置所が地域のまちづくりに役立てられることを前提に共存を図らなければと考えるが、地域住民の感情に配慮しながら、何ができるかを含め対応を検討していきたい。

東京拘置所

※他の質問項目　東京拘置所の小菅への移転　など

自由民主党議員団

緊急経済対策

問 今後、さまざまな中小企業の声を受けて、さらに追加的対策が必要な場合にはどのようなことを行うのか。

答 国や東京都の対策などを活用しながら区内産業の活性化に努めていく。既存事業についても、執行方法や要件の緩和で支援につながることを検討していく。

※他の質問項目　雇用・就業マッチング支援事業

定額給付金

問 定額給付金が有効に活用されるために、どのような対策を講じるのか。

答 区内共通商品券を景品として提供するセールを、定額給付金の支給時期に合わせて前倒しで行うことを検討している。また、区内の商店での買い物を喚起するお知らせを、さまざまな媒体を使って情報発信する。

中期実施計画における区の活性化施策

問 区民大学の将来像をどのように考えているのか構想について伺う。

答 はじめは区の主導で行うが、将来的には区民が主体的に取り組んでいくことで、次第に講座数も増え、内容もバラエティに富むような区民大学像を描いている。

自由民主党区民会議

行財政運営・フィットネスパーク整備事業の推進

問 安定的で健全な行財政運営とは、具体的にどのようなことを指しているのか。

答 起債や基金の取り崩しなどを活用して、行財政運営の安定化を図り、健全な財政運営の下で、区民が安心して生活をしている安定的な行政サービスの提供を目指していきたい。

※他の質問項目　バブル崩壊時の教訓　など

区の経済対策

問 緊急的な不況対策も必要だが、抜本的な区内の生産・流通・物販等の構造を改革し、将来の葛飾全体の底上げが図れるような長期的ビジョンに立った税の投入や行政の積極的なマネジメントも経済対策として必要と思うがどうか。

答 葛飾区地域産業活性化プランに基づき、商業・工業・農業の施策をバランスよく展開している。今後も長期的ビジョンに立った思い切った経済対策を検討していきたい。

※他の質問項目　公共サービスの民間開放　など

中期実施計画及び第二次改革パワーアッププラン

問 このプランは中期実施計画を財政面から支えるとあるが、具体的にどのように支えていくのか。

答 中期実施計画を推進するためには、現在の行政システムの仕組みや職員の意識を改革して、経営資源の配分やサービスの提供方法を適正化することが、柔軟性のある経営基盤の支えにつながるものと考えている。

※他の質問項目　職員の意識改革　など

フィットネスパーク整備事業

問 この予定地は、歴史的には葛飾清掃工場設置に伴う地元還元施設であり、基本計画策定に当たり、決して支援事業者に丸投げするのではなく、しっかりと地元住民や議会の意見・要望を踏まえた計画を策定すべきと思うがどうか。

フィットネスパーク予定地（水元）

答 この整備事業は、葛飾区スポーツ振興計画の重点施策の一つとして推進し、計画案については議会に適宜報告するとともに、パブリックコメントの実施により幅広く区民の意見を加えて策定したいと考えている。

※他の質問項目　駐車場整備　など

日本共産党葛飾区議会議員団

不十分な緊急経済対策を改め雇用・くらし・福祉の拡充を

2009年度予算と中期実施計画

問 区民の雇用に対する切実な願いに応えるためには、区はこれ以上の正規職員の削減を止めるべきと思うがどうか。

答 策定中の第2次改革パワーアッププランの取組項目を着実に推進し、執行体制を見直すことで正規職員数の最適化に取り組み、これまでと同様に正規職員の採用も行っていく。

問 本区の制度融資は借入れから返済まで半年の猶予期間になっているが、改善したらどうか。

答 融資の種類により、最長1年までの据え置き期間を設けるなど、状況に合わせた対応をしている。据え置き期間も利子が付くことから、返済期間が長くなることで返済総額の増加もあり、融資窓口での要望もない。

問 低所得者対策として、緊急貸付制度を区の事業として実施するとともに、その貸付金額や制度も簡素化する必要があると思うが、どうか。

テクノプラザかつしか

答 区社会福祉協議会が窓口となり、借受人のニーズに応じた貸付金制度を実施しており、区として、あらためて実施する考えはない。

問 母子家庭の母親に対する医療費の無料化を検討すべきと思うがどうか。

答 現在、医療助成を受けている母子家庭の55%の世帯は、非課税世帯で自己負担がない。費用負担の公平性の観点から一定以上の所得のある母子家庭の医療費無料化は考えていない。

※他の質問項目　緊急不況対策　など

介護保険対策

問 特別養護老人ホームの建設は、小規模の場合、総額で以前の制度と比較すると合計助成額は減少するといわれている。小規模施設こそ建設費に上乗せ助成すべきと思うがどうか。

答 都の用地補助の廃止を勘案し、補助金の増額を図ったが、今後、土地を賃借して整備する手法の検討などを法人に働きかけることで、有効な補助制度の活用を図っていきたい。

※他の質問項目　保険料の補助　など

立石図書館の建て替え

問 立石図書館建て替えは、代替施設を確保してから実施すべきである。

答 代替施設として立石図書館サービスコーナーを設置する。また、児童書について、蔵書の大半を本田小学校の校舎内に保管し、近隣児童も利用できるようにする。

民主党葛飾

学校施設の改築と高齢者の孤独死対策

本区の財政等

問 特別区交付金が21年度30億円の減収になったが、今後の見通しを伺う。

答 昨年末以降、経済状況はさらに悪化しており、厳しい状況が想定される。

※他の質問項目　特別区債発行　など

緊急雇用対策等

問 求職者との間でミスマッチが生じている状況を受け止め、対策を伺う。

答 ミスマッチに配慮し、国や都の補助金を活用し、取り組んでいく。

※他の質問項目　就労支援　など

学校施設の改築

問 区民施設併設も考慮に入れるべき。

答 校舎改築の際、懇談会で検討する。

※他の質問項目　財源確保　など

フィットネスパーク構想・地域スポーツクラブ

問 フィットネスパークの計画策定は。

答 策定委員会を設置し、検討する。

※他の質問項目　施設の規模　など

環境問題

問 LED街路灯を導入すべきでは。

答 トータルコストを勘案し、検討する。

高齢者施策・高齢者の孤独死対策

問 いきいきふれあいサロンは、他地域にも広げていくべきと思うがどうか。

答 試行的に実施し、結果及び効果を検証し、他地域にも広げていきたい。

※他の質問項目　孤独死の実態　など

まちづくり

問 再開発による金町駅利用者増加に伴う対策をJRに求めていく考えは。

JR金町駅

答 東京理科大学とも連携し、対策をJRに対し求めていきたい。

※他の質問項目　踏切対策　など

区政を聞く　一般質問（要旨）

4面まで続きます

葛飾区議会公明党

葛飾区環境基本計画策定　総合窓口システムの設置

低炭素社会実現にむけて

問 太陽光発電設置の補助制度をわかりやすくPRすべきではないか。

太陽光発電パネル（木根川小学校）

答 国・都の制度も含めパンフレットや、ホームページで紹介していきたい。

※他の質問項目　CO2削減　など

行政サービスの向上

問 総合窓口を実施する際、コールセンターの開設が必要ではないか。

答 利便性の向上のため検討を進めたい。

※他の質問項目　ICカード　など

教育と生涯学習

問 校内LANの整備と各教室にICT環境を整備してはどうか。

答 葛飾区学校ICT化推進計画を策定し、情報教育の充実に取り組む。

※他の質問項目　インターネットによる授業や講座の受講　など

不況対策

問 本区は、国や都の緊急雇用対策事業をどのように活用していくのか。

答 雇用・就業の創出に最大限活用する。

※他の質問項目　ダブルプレミアム商品券の発行　など

京成高砂駅周辺の街づくりと鉄道立体化

問 今後の鉄道立体化実現に向けた取り組みについて、見解を伺う。

答 立体化に向けた機運が高まる中、問題解決に向けて積極的に取り組む。

※他の質問項目　街づくりの取り組み

子育て世代を支え地球環境にやさしい区に

子育て支援

問 保育園等を活用し、「赤ちゃんの駅」を整備すべきと思うがどうか。

答 子育て支援施設を中心として、全区的な対応ができるよう整備する。

※他の質問項目　学童保育　など

食育の推進

問 学校栄養士のレベルアップを図るべきと思うが考えを伺う。

答 研修会を実施し、食育の推進を図る。

※他の質問項目　農業体験事業　など

元気高齢者対策

問 介護予防プログラムのさらなる充実を図るべきと思うが考えを伺う。

答 高齢者クラブや自治会等を支援し、介護予防の充実を図る。

※他の質問項目　配食サービス　など

持続可能な社会づくり

問 環境カルタなど、環境学習のさらなる充実を図るべきではないか。

答 今後検討を行い、児童・生徒などに分かりやすい環境学習を進めてく。

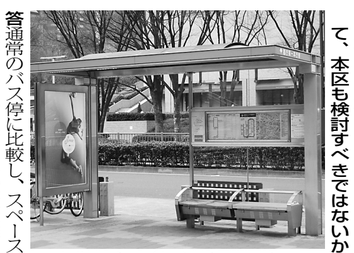
※他の質問項目　緑のカーテン　など

自由民主党議員団

まちづくりや文化芸術の取り組みでイメージアップを

まちづくりに伴う、イメージアップ戦略

問 広告パネル付バスシェルターについて、本区も検討すべきではないか。


広告パネル付バスシェルター

答 通常のバス停に比較し、スペースが必要であり、区道での設置は難しい面もあるが、他自治体での事例や効果を確認するなど、研究を進めたい。

※他の質問項目　イメージアップ戦略

特定健康診査・特定保健指導の実施状況

問 より多くの区民に利用してもらうためにPRなどを含め、今後どのように取り組んでいくのか伺う。

答 広報では、現場医師や利用者の声の紹介など、新しい趣向を取り入れ、受診券などの交付では、案内チラシの色やタイトル等を工夫し、対象者の目を引くものにしていきたい。

※他の質問項目　利用実績　など

文化芸術創造のまちかつしか推進事業

問 将来的には、文化の薫り高く葛飾の独自性に満ちた事業に具体的に取り組むべきと考える。区の考えを伺う。

答 葛飾を舞台とした作品の公募など、地域の特性や葛飾らしさが感じられる企画を立ち上げ、新たな文化を発信できるような取り組みを行っていく。

※他の質問項目　区民力の活用　など

区の新型インフルエンザ対策